



2026年5月13日

各位

会社名 株式会社イーディーピー
代表者名 代表取締役社長 藤森 直治
(コード番号：7794、東証グロース市場)
問合せ先 代表取締役副社長 兼 総務部長 高岸 秀滋
(TEL 06-6170-3871)

棚卸資産評価損の計上及び2026年3月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2026年5月13日開催の取締役会において、2026年3月期第4四半期会計期間において棚卸資産評価損を計上することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

併せて、2026年2月12日付で開示した2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）通期業績予想と実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 棚卸資産評価損の計上

当社は、当第4四半期連結会計期間において、直近の売上、受注状況に鑑み、親結晶や原石等の在庫の評価を見直した結果、870百万円の棚卸資産評価損を売上原価に計上することとしたものであります。

2. 2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）通期業績予想と実績との差異

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	500	△925	△910	△1,980	△136円00銭
実績 (B)	516	△1,360	△1,341	△2,415	△164円94銭
差異額 (B-A)	16	△435	△431	△435	—
差異率 (%)	3.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 2025年3月期	902	△976	△989	△2,306	△171円38銭

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	480	△780	△1,850	△127円00銭
実績 (B)	550	△897	△2,540	△173円47銭
差異額 (B-A)	70	△117	△690	—
差異率 (%)	14.7	—	—	—
(ご参考) 前期実績 2025年3月期	989	△873	△2,189	△162円72銭

(3) 差異発生の理由

売上高につきましては、概ね2026年2月12日に公表した予想どおりとなりましたが、損益については大きく乖離いたしました。この原因は、売上の低迷に鑑み、商品（ルース）、素材、仕掛品、親結晶、製品（主として原石）のいずれについても、低価法に基づき現状の価格を考慮した結果、棚卸資産評価損が予想と比べて合計435百万円増加したことであります。その結果、営業損失が大幅に増加いたしました。

以 上

<ご参考>

製品の分野別の売上予想の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	種結晶	宝石	デバイス関連	その他	合計
2025年6月30日時点予想(注)	585	578	610	88	1,861
2025年11月12日時点予想	未定	未定	450	30	未定
2026年2月12日時点予想	120	20	335	25	500
実績	117	22	349	27	516

(注) 2025年6月30日に公表した「事業計画及び成長可能性に関する事項」に記載した予想売上